

令和2年度井吹西児童館目標及び報告

井吹西児童館

| 理念        | 目 標 (P)                              | 実 践 (D)  | 気付き・反省 (C)  | 次への期待 (A)  |  |
|-----------|--------------------------------------|--|---|--|--|
| サードスの質の向上 | 地域の実態に合わせた子育て支援をする<br><br>児童育成の拡充を図る | 子育てサロンに親子5組以上の参加を目指す   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の児童館だよりにサロン実施の案内を載せて参加者を募った。</li> </ul> | 前半は緊急事態宣言の影響で児童館の利用に制限があった事もあり、サロンの実施ができなかったが、後半は2組の参加があった。                      | 参加者は少なかったが、その分丁寧な対応ができた。現在の形を継続して、少しずつ参加者の増員につなげていきたい。 |
|           |                                      | 主任児童委員との情報交換会を月1回実施する  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。</li> </ul>      | 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できなかったが、児童館で関わる様々な親子から、気になるケースについては、報告、相談が出来るようにしておく。 | 子育てサロンを実施した後に、主任児童委員さんとの情報交換会をおこなうようにし、早急な課題の対処につなげる。  |
|           | 高学年主催の行事を年1回実施する。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。</li> </ul> | 今年度は、各学校の職業体験及び福祉体験の実施がなされなかった。   | 高学年にとって魅力的な事業を考案し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりとつた上で安全に実施できるようにする。                      |  |
|           | 中高生に職業体験や福祉体験の場を提供する。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。</li> </ul> |   | 中高生の活動は、受けるだけではなく、活動の意図を伝えたり、活動する側からの疑問を引き出せるものにしていきたい。                          |  |

令和2年度井吹西児童館目標及び報告

井吹西児童館

| 理念     | 目 標 (P) | 実 践 (D)  | 気付き・反省 (C)  | 次への期待 (A)  |
|--------|---------|--|---|--|
| 地域との共生 | 地域との連携  | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言が解除後、井吹西ふれあいのまちづくり協議会の月1回定例会に参加した。</li> </ul> | <p>今年度は地域の活動や行事がすべて中止となった。その様な中でも、緊急事態宣言後の会議において、今後コロナ禍における地域事業の在り方や新しい様式について意見交換がなされた。</p>   | <p>コロナ禍における安全な地域行事の在り方や新しい様式を更に追及していき、地域活動が留まる事のないようにサポート体制を整えていく。</p>   |
|        | 年間利用数   | <p>自由来館<br/>延べ10,200名を受け入れる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自由来館<br/>延べ5,540名を受け入れた。</li> </ul> <p>緊急事態宣言後の6月以降も例年に比べて利用者が極端に少なかつた。ただ、緊急事態宣言後に制限なく不特定の一般来館者を受け入れる事に対しては大変気をつかつた。</p> | <p>コロナ禍において、子育てひろばのプログラムの内容縮小や人数の制限などもその時々で考慮しながら、慎重に一般来館の受け入れをしていく。</p> |